

年間行事



チャリティーカレンダー2014

2013.12~2014.1



新年会

2014.1.27



中心子どもの家との交流

2014.3.3



桜まつり

2014.4.5~6



第42回 通常総会

2014.4.25



視察研修（～皇居外苑・東御苑視察&隅田川屋形船～）

2014.9.10

宮内庁の庁舎は戦火を免れた広い建物。彫刻などの装飾はなく簡素なもの。天皇誕生日や新年の一般参賀の人が並ぶ長和殿前の東庭は広く、お立ち台の高さが3.5メートルと意外に低い。皇室が国民と親しまれる距離の近さだと感じられました。

東御苑は江戸時代の歴史の絵巻きを思わせる松の廊下、大奥の跡地は緑の芝生が鮮やかに目にしみます。天守閣の跡の石垣は高く、大きな石が組み込まれ、江戸幕府の権力が強かったことを想像します。



桜まつり

第42回 通常総会

新入会員紹介

クリエートデザイン製作所・
リラクゼーションサロン ルチア



丸山 和加恵

相模原市緑区下九沢1648-7
電話 042-770-6508
相模原市緑区橋本6-24-1
プラウド橋本2F
電話 042-703-7222

工業用モデル製造を主な業務として30年、新たに予防医学の時代を受けて橋本駅近に美と健康のサロンをスタートさせて頂きました。宜しくお願い致します。

あとがき

女性会の活動も「とうとるん」の開発事業で大きな成果を挙げる事となりました。一人一人の小さな“力”が皆の力で大きく育っていこうとしています。ご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

【広報委員長】
山口廣子
【副委員長】
吉原洋子、判治君代
【委員】
森 裕子、森山裕美
小野法子、與儀康子
須賀節子、小松けい子



相模原商工会議所女性会広報

Saezuri
-さえずり-

19号
2015年1月25日

発行：相模原商工会議所女性会
〒252-0239
神奈川県相模原市中央区中央3-12-3
TEL 042-753-8135

～目次～

会長挨拶	1	年間行事	4
さがみはらからなくそう 生活習慣病	2~3	新入会員紹介	4
		あとがき	4

会長挨拶

相模原商工会議所女性会
会長 猪熊 幸江



皆様には、日頃から会の運営にご理解とご協力を賜り、深く御礼申し上げます。

相模原商工会議所女性会は、商工会議所内部団体として女性経営者の資質向上や商工業の振興、会員間の連携・親睦を深めると共に、社会福祉の増進に寄与することを目的に活動しています。

活動方針としては、「環境と福祉」・「地産・地消」をテーマに掲げております。

「環境と福祉」としては、年末に企業等から提供頂いたカレンダーを販売して子ども達の教育支援に役立てる「チャリティーカレンダー」事業や、児童養護施設「中心子どもの家」との交流などを行っています。

「地産・地消」としては、かつての養蚕の地であった、当地相模原産の桑の葉を使った「桑茶とうとるん」を開発、平成25年9月より製造販売し、普及に力を注いでおります。この取組みは、平成26年2月に、神奈川県が、女性が開発に貢献した商品において特に優れた

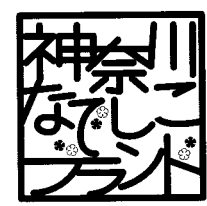
ものを認定する「神奈川なでしこブランド」に指定され、平成26年10月には、全国商工会議所女性会連合会（全女連）が実施する「個として光る」女性会事業表彰で、最優秀に当たる日本商工会議所会頭賞を受賞しました。これらの栄誉は、愛用していただいている皆様と、農家の方々をはじめ、協力して下さった方々のお陰だと感謝しております。今後も、この「さがみの桑茶 とうとるん」が相模原の特産品として、市内をはじめとする多くの方々に愛飲していただけるよう取り組み、さらに、「環境と福祉」とも連携しながら、生活習慣病の改善に役立てて行きたいと思います。

当会は、これからも内部の充実を図り、更なる発展のため常に向上心を失わず、会員自ら研鑽を積み、上記テーマに基づく事業活動を展開し、会の活性化並びに市内産業の振興の一助となるべく、邁進して参る所存です。皆様の更なるご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

桑の葉パワー

さがみはらからなくそう

生活習慣病



日商会頭賞を受賞 「とうとるん」の取り組み評価

相模原商工会議所女性会(猪熊幸江会長)は、全国商工会議所女性会連合会が実施する「個として光る」女性会事業表彰で、最優秀にあたる日本商工会議所会頭賞を受賞しました。

当所の女性会は地産地消事業の一環として「さがみの桑茶・とうとるん」を製造販売。普及に力を注いでいます。こうした活動が評価され、平成26年10月2日に神戸ポートピアで授賞式が行われました。

表彰式で猪熊会長は「当会の活動が評価されてこのような素晴らしい賞を頂戴でき、とても嬉しいです。今回の受賞は農家の方々はじめ、この事業に賛同し、協力してくださった方々のお陰だと感謝しております。今後も、この「さがみの桑茶・とうとるん」が相模原の特産として多くの方に愛飲していただけるよう取り組んで行きたいと思います」と受賞の喜びを語っていました。

「とうとるん」は平成25年から、販売を開始しています。桑茶には、特殊成分「デオキシノギリマシン」が含まれており、これが血糖値の上昇を抑えたり、脂肪燃焼の効用があるとされています。

一方、相模原はかつて、養蚕・製糸業が盛んでした。養蚕に欠かせないのが桑の葉で、どの農家も桑を栽培していました。

同会では歴史的な地場産業であった「桑の葉」とその効果に着目。相模原の特産品として育成しようと平成22年から開発を進めていました。

県衛生研究所や県農業技術センター、産業技術センターなどの公的機関、お茶の産地である静岡県の製茶業者とも連携を進め、商品化に取り組みました。

さらに、原材料となる「桑の葉」を確保するため、相模原の地元農家とも協議。農地で使われてない桑の



日商 三村会頭から表彰状が授与された

葉の活用を促すことで、耕作意欲の復活にも寄りました。

実際の商品開発では試行錯誤だったといいます。飲みやすいように、桑の葉をパウダー状にしたほか、桑の臭みを消すために玄米をブレンドしました。(実用新案登録済み)

「とうとるん」の生産は、農家で桑摘み作業からパッケージ包装に至るまで、女性会の会員が一つ一つ手作業で行っています。

現在はインターネットによる販売のほか、女性会所属店舗や販売店など、市内9店舗で販売しています。価格はスティック(0.8グラム)20本入りが1280

円、40本入りが2480円。ほかに40グラムが入ったお徳用が1980円となっています。また、昨年8月より玄米の風味を生かした桑茶飴も開発・販売を開始しました。(300円)。いずれも税込。

昨年2月には県から「かながわなでしこブランド」に認定されています。

猪熊会長は「まずは市内で『とうとるん』の知名度を上げて、相模原の特産品として全国的に広めていきたいです。さらに、当会のもう一つの活動主要テーマである環境と福祉事業とも連携しながら生活習慣病の改善に役立てていきたいです」と話しています。



桑詰り作業中の方々と桑畑にて

食事のお供に さがみの桑茶

とうとるん



神戸の全国大会参加「最優秀賞」で表彰

女性会では、平成26年10月2日、兵庫県神戸市で開催された、第46回全国商工会議所女性会連合会(全女連)全国大会に参加しました。

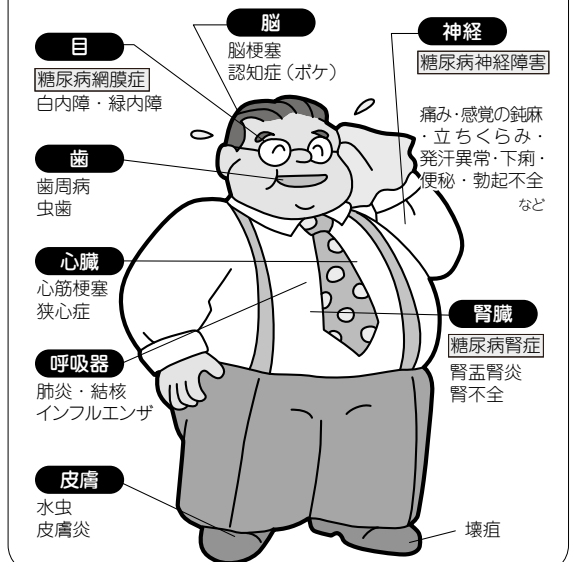
当日は、全国350商工会議所女性会員約1500名が集い、当商工会議所女性会からも猪熊会長はじめ7名が参加しました。大会では、「個として光る」女性会事業表彰が行われ、このたび当女性会(さがみの桑茶・とうとるん)が最優秀賞(日本商工会議所会頭賞)を受賞しました。その後、静岡県立大学小川和久特任教授による「日本の危機管理は万全か」と題した記念講演や懇親会が行われ、大会は盛況のうちに閉会しました。

大会終了後には、神戸海洋博物館・神戸ポートタワーなどを見学し、会員相互の親睦を深めました。



全女連神戸大会会場前で

◆生活習慣病で起こる主な合併症◆



携帯用
に



0.8g×20 本入
¥1,280

食卓用
に



0.8g×40 本入
¥2,480

お徳用
に



40g 入
¥1,980

スプーン付

玄米風味の
桑茶飴



80g 入
¥300

※価格はすべて税込みです

さがみの桑茶 とうとるん は蒸気殺菌し玄米をブレンドして飲みやすくおいしい桑茶にしました。パウダー化にしてあるので、水でもお湯でも溶けやすく、またスティック状にしてあるので持ち運びにも便利で外出先でも摂りやすくしてあります。(実用新案登録 No.3184652 号)

インターネットは 24 時間受付中

さがみの桑茶

検索

お問い合わせ

相模原商工会議所女性会 相模原市中央区中央3-12-3
TEL 042-753-8135 FAX 042-753-7637
受付時間 9:00~17:00 (土日・祝日を除く)

販売者
SMM企画